2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月6日

上場会社名　　わかもと製薬株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4512　　ＵＲＬ　https://www.wakamoto-pharm.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）平井　友行
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　広報室長　　（氏名）高野　浩一　　ＴＥＬ　03-3279-0371

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：　無
決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	4,792	9.4	△334	－	△303	－	△181	－
2026年３月期中間期	4,382	14.9	△195	－	△175	－	△134	－

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△5.21	－
2026年３月期中間期	△3.86	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	15,717	11,568	73.6	333.34
2026年３月期	16,499	12,008	72.8	346.00

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　　11,568百万円　　2026年３月期　　12,008百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	3.50	3.50
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期(予想)			－	3.50	3.50

直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2027年３月期の業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	11.0	200	△21.7	200	△22.0	230	1.2	6.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	34,838,325株	2026年３月期	34,838,325株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	132,499株	2026年３月期	132,441株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	34,705,842株	2026年３月期中間期	34,706,228株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当中間決算に関する定性的情報（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 6
（３）中間キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間会計期間における経営成績につきましては、以下のとおりです。

	2026年３月期 第２四半期 （中間期） （百万円）	2027年３月期 第２四半期 （中間期） （百万円）	増減額 （百万円）	増減率 （%）
売上高	4,382	4,792	410	9.4
売上総利益	1,997	1,831	△165	△8.3
営業損失（△）	△195	△334	△138	－
経常損失（△）	△175	△303	△127	－
中間純損失（△）	△134	△181	△47	－

売上高は、国内外に向けた「強力わかもと」の売上伸長およびグローバル事業における点眼剤の受託製造増加などにより、前年同期比４億１千万円増加し、47億９千２百万円となりました（前年同期比9.4%増）。

売上総利益は、薬価改定の影響等により、前年同期比１億６千５百万円減少し、18億３千１百万円となりました（前年同期比8.3%減）。

販売費および一般管理費は、前年同期の広告費増嵩要因の剥落等により、前年同期比２千６百万円減少し、21億６千５百万円となりました（前年同期比1.2%減）。

以上の結果、営業損失３億３千４百万円（前年同期比１億３千８百万円減）、経常損失３億３百万円（前年同期比１億２千７百万円減）、投資有価証券売却による特別利益１億５千２百万円を計上し、中間純損失１億８千１百万円（前年同期比４千７百万円減）となりました。

セグメント別の事業概況は、次のとおりであります。

①医薬事業

医薬事業では、毎年の薬価改定により薬剤費の引き下げが継続的に進められており、収益面では厳しい環境が続いております。かかる環境下、2025年11月、医療機器（眼内レンズ）事業とのシナジー効果を期待して製造販売承認を承継した「ヒアルロン酸Na眼粘弾剤」や、2025年12月に上市した「エピナスチン塩酸塩LX点眼液0.1%」等の新たな商品が、ＭＲ活動量の増加、卸との連携強化等の諸施策も奏功し、売上高の伸長に寄与しました。販売数量は増加したものの新薬創出加算返還等に伴う薬価改定の影響により「マキュエイド眼注用」等の売上高は減少しました。一方で、2024年10月に施行された長期収載品の選定療養における後発品への切り替えの流れを捉え、「ドルモロール配合点眼液」の売上高が増加しました。

医療機器事業におきましては、昨年度、発売開始しました多焦点眼内レンズ「アクリバトリノバ Pro」、乱視用モデル「アクリバトリノバ Pro トーリック」、「テノン嚢下投与針」等の販売につき、本年度を取組元年として、医薬事業に加えて、医療現場への更なる貢献を目指し、事業拡大に取り組んでいるところであります。

その結果、医薬事業全体の売上高は、前年同期比７千８百万円増加し、22億８千２百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

②ヘルスケア事業

ヘルスケア事業では、乳酸菌技術をはじめとする当社独自の技術を活用した製品によるセルフメディケーションの推進、お客様満足度アップを目指し、オンライン、オフライン両軸での接点の強化、広告宣伝と連動した売り場作りに取り組みました。「強力わかもと」の国内での更なる認知拡大に向け、新広告及びテレビＣＭ連動ＰＯＰを展開したほか、元気なカラダづくりのために、年齢とともに胃腸の衰えを感じるタイミングで飲み始めることの重要性を訴求するイベント出展等を通じて、新規顧客獲得への需要喚起を図っています。インバウンド需要への対策としては、店舗と協働し、セット企画や試供品の活用等で購買を促進する展開に取り組みました。

その結果、ヘルスケア事業全体の売上高は、前年同期比６千３百万円増加し、12億５千３百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

③グローバル事業

グローバル事業では、台湾などアジア圏での「強力わかもと、わかもと整腸薬」の販売に加え、欧米、アジア、オセアニアにおけるライセンスイン・アウトの活動、中国越境ＥＣの拡大、国内外での乳酸菌事業の拡大に努めてまいりました。

国内事業は、点眼剤の受託製造増加、海外事業においては、中国越境ＥＣにおいて広告施策を展開した「強力わかもと」、輸出用「マキュエイド眼注用」の売上が増加しました。その結果、グローバル事業全体の売上高は、前年同期比２億６千３百万円増加し、11億６千万円（前年同期比29.4%増）となりました。

④不動産賃貸業

不動産賃貸業の主たる収入はコレド室町関連の賃貸料であります。売上高は、前年同期比４百万円増加し、９千７百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間会計期間末における総資産は、157億１千７百万円と前事業年度末に比べ、７億８千１百万円減少しました（前事業年度末4.7%減）。商品及び製品、機械及び装置が増加した一方で、売掛金、現金及び預金が減少いたしました。これは計画的な在庫の積み増しや相模大井工場の一部増設によるものであります。

一方、負債の部は、41億４千８百万円と前事業年度末に比べ、３億４千２百万円減少しました（前事業年度末比7.6%減）。これは主に、買掛金、未払消費税等、賞与引当金が減少したことによるものであります。

純資産の部は、115億６千８百万円と前事業年度末に比べ、４億３千９百万円減少しました（前事業年度末比3.7%減）。これは主に、利益剰余金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の72.8%から73.6%となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社はアレルギー性結膜炎治療剤である抗アレルギー点眼剤等の製造販売も行っていることから、花粉が飛散する春先を含む年度下期にかけて、医薬事業売上高が増加する傾向にあります。また、当社では相模大井工場の生産ラインメンテナンスのため、例年、年度上期に「強力わかもと」等の生産ラインを一部休止します。当社は総合原価計算を採用しているため、生産ラインを一部休止する年度上期よりも年度下期の売上原価率は良化する傾向にあります。2027年３月期の業績予想につきましては、2026年５月15日に公表しました業績予想からの変更はありません。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,006,175	1,611,399
売掛金	3,483,563	2,993,737
商品及び製品	2,619,255	3,076,714
仕掛品	369,905	401,682
原材料及び貯蔵品	932,556	907,464
未収還付法人税等	－	5,555
その他	260,362	277,797
流動資産合計	9,671,819	9,274,353
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,269,409	8,377,725
減価償却累計額	△5,932,873	△6,005,855
建物（純額）	2,336,536	2,371,870
構築物	268,904	268,904
減価償却累計額	△261,882	△263,012
構築物（純額）	7,021	5,891
機械及び装置	8,867,978	9,303,168
減価償却累計額	△8,285,248	△8,378,284
機械及び装置（純額）	582,730	924,884
車両運搬具	38,883	38,883
減価償却累計額	△35,843	△36,335
車両運搬具（純額）	3,039	2,547
工具、器具及び備品	1,151,358	1,173,042
減価償却累計額	△1,007,822	△1,005,099
工具、器具及び備品（純額）	143,535	167,942
土地	82,947	82,947
建設仮勘定	505,865	48,155
有形固定資産合計	3,661,676	3,604,240
無形固定資産		
ソフトウエア	199,844	180,583
ソフトウエア仮勘定	38,000	55,304
その他	3,680	3,680
無形固定資産合計	241,524	239,567
投資その他の資産		
投資有価証券	2,252,637	1,954,476
保険積立金	291,964	253,440
修繕積立金	153,542	169,187
その他	257,846	253,807
貸倒引当金	△31,403	△31,403
投資その他の資産合計	2,924,587	2,599,507
固定資産合計	6,827,788	6,443,315
資産合計	16,499,607	15,717,668

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,005,435	828,087
短期借入金	100,000	400,000
１年内返済予定の長期借入金	38,460	76,920
未払法人税等	111,370	33,794
賞与引当金	370,900	229,400
未払消費税等	150,001	－
その他	1,005,132	751,275
流動負債合計	2,781,298	2,319,477
固定負債		
長期借入金	261,540	423,080
繰延税金負債	268,739	227,929
退職給付引当金	1,007,874	1,006,898
長期預り金	171,573	171,408
固定負債合計	1,709,727	1,829,316
負債合計	4,491,025	4,148,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,826	2,675,826
利益剰余金	4,794,720	4,492,157
自己株式	△36,614	△36,633
株主資本合計	10,829,820	10,527,238
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,178,760	1,041,637
評価・換算差額等合計	1,178,760	1,041,637
純資産合計	12,008,581	11,568,875
負債純資産合計	16,499,607	15,717,668

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	4,382,206	4,792,878
売上原価	2,385,043	2,961,518
売上総利益	1,997,163	1,831,360
販売費及び一般管理費	2,192,880	2,165,966
営業損失（△）	△195,717	△334,606
営業外収益		
受取利息	1,597	1,611
受取配当金	26,450	34,507
その他	5,801	7,890
営業外収益合計	33,849	44,009
営業外費用		
支払利息	557	5,260
固定資産除却損	0	0
寄付金	10,302	7,463
その他	2,843	23
営業外費用合計	13,703	12,746
経常損失（△）	△175,572	△303,344
特別利益		
投資有価証券売却益	－	152,732
特別利益合計	－	152,732
税引前中間純損失（△）	△175,572	△150,611
法人税、住民税及び事業税	8,176	8,176
法人税等調整額	△49,733	22,304
法人税等合計	△41,557	30,480
中間純損失（△）	△134,014	△181,092

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純損失（△）	△175,572	△150,611
減価償却費	217,835	260,465
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△3,773	△975
賞与引当金の増減額（△は減少）	67,171	△141,500
受取利息及び受取配当金	△28,047	△36,119
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△152,732
支払利息	557	5,260
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額（△は増加）	△199,173	489,825
棚卸資産の増減額（△は増加）	△435,672	△464,144
仕入債務の増減額（△は減少）	△145,453	△177,347
未収消費税等の増減額（△は増加）	87,948	△68,655
未払消費税等の増減額（△は減少）	12,967	△150,001
預り敷金及び保証金の増減額（△は減少）	△1,855	△165
その他	16,869	148,076
小計	△586,198	△438,625
利息及び配当金の受取額	28,047	36,119
利息の支払額	△557	△5,260
法人税等の還付額	7,665	－
法人税等の支払額	△21,881	△82,325
営業活動によるキャッシュ・フロー	△572,925	△490,092
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△341,131	△534,654
無形固定資産の取得による支出	△10,143	△40,109
投資有価証券の取得による支出	△2,236	△2,469
投資有価証券の売却による収入	－	253,125
保険積立金の積立による支出	△12,727	△13,114
保険積立金の解約による収入	14,992	51,638
投資その他の資産の増減額（△は増加）	△14,676	△11,605
投資活動によるキャッシュ・フロー	△365,923	△397,189
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	－	300,000
長期借入れによる収入	－	200,000
自己株式の取得による支出	△78	△17
配当金の支払額	△103,621	△107,476
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103,700	392,505
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,042,549	△494,776
現金及び現金同等物の期首残高	2,954,759	2,006,175
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,912,210	1,511,399

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間会計期間（自2025年４月１日 至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計	調整額	中間損益計算書計上額（注）
	医薬事業	ヘルスケア事業	グローバル事業	不動産賃貸業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	2,203,074	1,189,804	896,996	92,330	4,382,206	4,382,206	－	4,382,206
計	2,203,074	1,189,804	896,996	92,330	4,382,206	4,382,206	－	4,382,206
セグメント利益又は損失（△）	△445,774	129,721	86,756	33,578	△195,717	△195,717	－	△195,717

（注）セグメント利益又は損失（△）の合計額は、中間損益計算書の営業損失（△）と一致しております。

Ⅱ　当中間会計期間（自2026年４月１日 至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計	調整額	中間損益計算書計上額（注）
	医薬事業	ヘルスケア事業	グローバル事業	不動産賃貸業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	2,282,023	1,253,386	1,160,424	97,045	4,792,878	4,792,878	－	4,792,878
計	2,282,023	1,253,386	1,160,424	97,045	4,792,878	4,792,878	－	4,792,878
セグメント利益又は損失（△）	△704,330	175,381	154,920	39,422	△334,606	△334,606	－	△334,606

（注）セグメント利益又は損失（△）の合計額は、中間損益計算書の営業損失（△）と一致しております。